

京都で人とつながる 夢がひろがる 京都市はたちニュース

令和2年京都市はたちを祝う記念式典が盛大に開催されました！

多数のはたちを迎える方が参加し、旧友との再会を楽しみました！

1月13日(月・祝)にみやこめつせ(京都市勸業館)で開催された「京都市はたちを祝う記念式典」。当日は晴天に恵まれ、7970名の方が参加し、大きな賑わいのもと、厳粛な中にも温かみのある式典となりました。(住民基本台帳に基づいた京都市内の新成人数は、1万5651名、参加率50.9%)



優雅な音色と華麗な踊りではたちを迎える方をお迎えしました。



京都市立芸術大学生



京小町踊り子隊

はたちを迎える方の門出を祝うため、京都市立芸術大学生と京小町踊り子隊の皆さんが応援に駆け付けてくれました。まず、芸術大

優雅な弦楽四重奏が奏でられ、引き続き、色鮮やかな衣装に身を包んだ京小町踊り子隊が「華の乱」、フラッグ・リボン・和傘を次々と持ちかえて踊る「百花繚乱」を披露すると、一気にお祝いの雰囲気会場に広がりました。

厳粛な会場内に響く市歌・国歌



(右から)京都国際交流合唱団、京都市少年合唱団、京都市消防音楽隊



続いて、京都市消防音楽隊による演奏のもと、京都市少年合唱団、京都国際交流合唱団の皆さんが澄み切った歌声で、市歌・国歌を合唱しました。

門川市長からはたちを迎えられる皆様へ



門川大市長
京都市長

来賓・主催者紹介の後、門川大作京都市長は「京都の文化政策・まちづくり政策に主体的に参加し、ひとりひとりの個性を発揮してほしい」「人生に無駄なことはない」「人生の進路に迷った時は困難な道を選ぼう」とのエールを新成人に贈りました。

京都市会からはたちを迎えられる皆様へ



山本恵一
京都市会議長

山本恵一市会議長からは「何事にも果敢にチャレンジしてほしい」「京都のまちを誇りに思い、愛し続けてほしい」「主権者としての自覚を持ち、京都市のより良い未来を創るための力添えをいただきたい」との期待を込めたお祝いの言葉が贈られました。

新成人への励ましと華包贈呈

在田正秀京都市教育長からの新成人への励ましの後、村上圭子京都市副市長と永井崇博ユース21京都副理事長から、京都の若手華道家達が現代に復活させた、江戸時代のいけばなの伝書に残る「華包(はなつつみ)」が新成人代表へ贈られました。



新成人への励まし



華包贈呈

新成人代表による二十歳の誓い

小中学生の頃は喧嘩っ早く周囲の人たちに迷惑をかけてきましたが、友達のおかげで自分を少しずつ変え、周りとの関係も変わってきました。

将来は困っている人を支えることのできる弁護士になりたいです。



小西浩太さん

陸上部に所属していた高校生の頃、疲労骨折してしまいました。チームに貢献できず、追い詰められ、リハビリに通う私を救ってくれたのは、柔道整復師の方でした。怪我の治療だけでなく、心の傷も癒してくれたのです。私も患者に寄り添える柔道整復師になりたいです。



寺川亜希さん

リーダーに憧れていた私は、周りから嫌われないことばかり気にしていました。ある本がきっかけで、そうではなく、周りとうまく関わるかが重要だと気づきました。現在は、この本にあった「普通じゃない特別」という言葉を胸に、法律家を目指しています。



吉川史也さん

周囲の反対の中、自分の思いを大切にし、フィリピンの大学への進学を決断しました。言葉の壁にぶつかりましたが、いろんな人の助けがあり、乗り越えることができました。将来は、挑戦する人や道を切り拓く人の力になれるようになりたいです。



上野紗和さん

ラグビーワールドカップ
日本代表 田中史朗選手
お祝いメッセージ

今年度ラグビーワールドカップで大活躍された京都市出身の田中史朗選手からはたちを迎える方へ、お祝いメッセージが届きました。スクリーンに田中選手が映しだされると会場からは歓声が沸き上がりました。



田中史朗選手

若さあふれる力強い
踊りとありがとう抽選会

式典終了後に、会場の新成人と同世代の京炎そでふれ！の皆様による力強い創作オリジナル踊りが披露されました。引き続き、お世話になった方へ贈るためのペア食事券などが用意されたユース21京都主催のありがとう抽選会が行われ、当選した方からは喜びの声が上がっていました。



京炎そでふれ

第2会場の様子

はたちの集いコーナー

式典終了後、参加者は第2会場に移動しました。ここでは、私学等を含めた中学校109校のコーナーが設けられ、校名看板の下には「母校・恩師からのメッセージ」が掲示されました。懐かしい先生からのメッセージや学校の現在の様子などを見て、参加者の皆さんは感慨深い表情で旧友との会話を花を咲かせていました。



ボランティアの皆様
ありがとうございました！

今年も、裏千家淡交会青年部の皆さんによる「お茶席」、新洞学区の皆さんによる「振る舞い餅」、京都市学校給食研究会の皆さんによる懐かしの給食メニュー「ぶりぶり中華炒め」「三色ゼリ」を振る舞っていただきました。第2会場はお祝いムード一色となり、参加者たちは憩いのひと時を楽しんでいました。



振る舞い餅



懐かしの給食



お茶席

1/2成人式の取組



新成人にプログラムを渡す小学4年生たち

小学4年生がこれまでの成長を振り返り、将来を考える「1/2成人式」。当日は小学校4年生の児童とその保護者たちが参加し、受付でお兄さん、お姉さんたちに「おめでとうございす！」と元気な掛け声とともにプログラムを配布してくれました。その後、新成人とともに式典にも参加し、10年後の自分の将来に思いをはせていました。

思い出成人式

京都市はたちを祝う記念式典には、仕事や家庭の事情など様々な理由で20歳の時に式典に参加できなかった方で、改めて「大人のけじめ」として式典に参加したい方をご招待し、新成人の方と一緒に式典に臨んでいただいております。今年は2名の方が出席されました。

成年年齢引下げ後も20歳での式典を継続します！

この度、令和4年4月の改正民法施行に伴い、成年年齢が18歳に引き下げられますが、京都市では、18歳での式典開催は、参加者の多くが大学受験又は就職といった人生の選択を迫られる極めて多忙な時期であり、参加者本人だけでなく、家族も含めて落ち着いた環境でお祝いすることは困難であるとの考えのもと、参加者が落ち着いて参加することができ、家族や旧友、地域社会との繋がりをしっかりと確認できるよう、成年年齢引下げ後も、20歳での式典開催を継続することとし、「はたちを祝う記念式典」と名称を変更しました。

これからも、京都市全体で青年の成長の節目を祝ってまいります。

京都市長 門川 大作

京都市 はたちプロジェクト

京都市では、社会全体で青年の門出を祝い励ます気運を高め、成人の日をきっかけに人と人、人と社会の絆が深まるよう、「はたちプロジェクト」を展開しています。ここに主な取組を紹介します。

おめでとう・ありがとうの手紙

日頃はなかなか言えずにいる感謝の気持ちを新成人から家族へ、お祝いの言葉を家族や特に関係の深い方から新成人へ贈ることを目的とした「おめでとう・ありがとう」の手紙を募集しました。本年度は特に心に残る作品を2点選定しましたので、うち1点をここに紹介します。(詳しくは京都市育成推進課のホームページに掲載しています。)

成人おめでとうございます。
子育て中は20歳までまだまだ、そしていつまでも一緒にあなたと暮らせると思っていたのですが、そんなことはないのですね。
高校卒業と同時に社会人になり一人暮らしすることになるなんて予想もしていませんでした。
なので、もっともっと大切に日々を過ごせば良かったという思いが本音です。
お母さんなりに子育ては一生懸命にやってきましたつもりだけどもお母さんも未熟であなたと一緒に成長させて貰った20年間でした。
親になったからこそ見える景色は今は懐かしく嬉しい思い出で、町で見かける子供をあなたの小さかった頃と重ねて、お父さんと懐かしんでいます。
私の子育てに沢山の方が関わってくださった。あなた自身も沢山のいい先生との出会いで色々な考えが出来たと思います。
今のあなたがあるのは自分一人だけの力ではないことを心に置いて、今しかできないことを一生懸命チャレンジし人生を楽しんで下さい。
そして、身体に気をつけてね。
お父さん、お母さんはこれからは一歩ひいてあなたを見守っていきます。
成人を迎える息子へ 母より



発行
子ども若者はぐみ局
子ども若者未来部
育成推進課
TEL.075-748-0016

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

京都市
CITY OF KYOTO

京都市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。